

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 品種別出荷体制の構築  
ジャガイモイストセンチュウ抵抗性品種の普及推進  
ジャガイモイストセンチュウの侵入防止の徹底

計画作成主体 : 栗山町農業再生協議会  
対象品目 : 種馬鈴しょ (産地面積 : 180ha)  
主な取組主体 : そらち南農業協同組合  
成果目標 : 契約栽培割合の10%以上の増加  
かつ50%以上  
助成金の活用 : 整備事業 (種子種苗生産関連施設)  
状況

## ポイント

選別能力を向上させることで品種別出荷体制を構築するとともに、ジャガイモイストセンチュウ侵入防止対策を強化し、実需者ニーズに対応することにより、契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状:H26年度

作付面積 : 180ha

ジャガイモイストセンチュウの侵入・蔓延防止  
品種の多様化による施設能力の限界  
流通の多様化による実需者ニーズへの対応不可

目標:H30年度

作付面積 : 183ha

品種別出荷体制の構築  
ジャガイモイストセンチュウ侵入防止の徹底  
産地収益力の強化を図る



## 推進体制

地域の関係者 (栗山町、そらち南農業協同組合、農業関係者等) が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

主な取組

ジャガイモイストセンチュウ侵入防止対策マニュアルに基づき、抵抗性品種の作付推進や圃場への立入禁止看板の設置  
ジャガイモイストセンチュウ発生地域から出る時は、トラックのタイヤ等の徹底した洗浄  
町民及びJA組合員への広報活動  
優良種馬鈴しょの移出量全国一の継続を図る

## 事業効果

選別能力が強化されることにより品種別出荷体制が構築され、品質が安定・向上する。

ジャガイモイストセンチュウ侵入防止対策を強化するなど、実需者ニーズ (早期出荷・荷姿等) の対応を図ることで産地収益力の強化を実現する。

~ 契約取引割合の増加 ~

